

愛いっばいの笑顔

間宮 みほ（三重県伊勢市／59歳 女性）

お母さん、前日まで元気だったあなたが夜中に脳卒中で倒れ、そのまま天国へ召されてから、三十五年の年月が流れました。その時お母さんは五十二歳、私は二十四歳で結婚を申し込まれた彼がいました。でもあなたにはまだ報告していませんでした。「明日言おう」と思っていた翌朝、突然あなたは遠い国へ行ってしまったのです。もつと早く言っておけばあなたの心に張りができ、突然亡くなる、なんてことはなかったのでは……と悔やまれて仕方ありませんでした。

お母さんがいなくなって半年後に、私は結婚し娘が生まれました。あなたが生きていればどんなに喜んでくれただろう、と産院のベッドで涙しました。数年後に息子も生まれ子育てや仕事に追われ、あなたのことを思い出す日は多くありませんでした。年月は過ぎ、子供達も巣立った今、静かな家であなただのことをよく思い出します。

記憶の中のお母さんはいつも笑顔でした。私の誕生日にプレゼントを渡してくれた時はいつもの倍の笑顔。「学校でテストが一番だった」と報告した時、「えらかったなあ」と褒めてくれた笑顔。母の日のプレゼントを渡した時は、感激したような笑顔。クラブの合宿で疲れて帰った時、迎えてくれた優しい笑顔。あなたの笑顔を思い出すと、心がとても温かくなります。

最近お母さんが書いてくれた育児日誌が見つかりました。ページ数は少ないのですが、あなたの子育ての苦労を改めて知りました。私が四歳頃、熱の上がり下がりを繰り返し、病名も分からず、方々の小児科に連れて行ってくれました。ある時は小児科、耳鼻科、眼科と一日に三カ所の病院を回って、親子とも疲れた、と書かれています。お母さんは体が弱かったから尚更です。その頃は車もなく、家事も今よりはるかに過重だったのに……と感謝の気持ちで一杯になります。でも私が何一つ恩返しすることなく、あなたは旅立ってしまいました。許してくださいね。

お母さんは高圧的なお父さんのもとで、心身ともにつらい時期が短くありませんでした。でもそんな苦しい時も子供達にはいつも笑顔で接してくれました。きれいな心の持ち主で、不満や人の悪口を言わず、いつも明るく優しくかった。こんなお母さんに育ててもらったことを、私は心から誇りに思っています。

お母さん、本当にありがとう。